

多久 議会だより



令和3年
11月定例会

第51号



東多久公民館締め飾り作り

特集：オンライン議会報告会 …… P2～5
議案質疑・審査報告 …… P6～7
一般質問 …… P9～11
まちで発見! …… P12

特集!

オンライン議会報告会

告 会「オンライン」

行いました。多久ケーブルメディアでの放送と、多久市議会ユーチューブチャンネルで公開した報告した内容をご紹介します。

総務文教委員会報告

閉会中継続審査事件として、「空き家対策について」、「公共施設の維持管理対策について」の2つの項目に取り組んでいます。

「空き家対策について」は、「特定空家と管理不全な空家」、「空家の利活用」、「空家になる前の予防対策」について今後審査を進めていくことにしました。

「特定空家と管理不全な空家」については、多久市空家等対策計画の策定のため現地調査や意向調査が行なわれているが、目の前の問題に対応しているだけで将来的なビジョンが見えてこない。全体的な将来像を作り、それに向け段階的な計画を作ることや、民間に任せる部分がないかを考えてもらいたい。

特定空家の除却に関しては、行政代執行で解体した費用の回収が一番の課題であり、法律上の所有者に対して除却費用の請求はできるものの、現実的に回収できない状況にあるので、除却した後の土地を売却して費用に充てることができないかを提案し

ました。



「空き家の利活用」については、空き家バンクにより空き家の利活用に繋がるよう支援しており、今年度から担当者を設け体制強化を図られています。

空き家を活用した事業を展開している民間事業者があれば連携して取り組んでももらいたいという意見が出ました。

「空き家になる前の予防対策」については、高齢者世帯に対して居住している建物の今後について意向調査を検討できないかと提案したところ、担当課から地域包括支援課と連携できないか庁内で検討していきたいとのことでした。

「公共施設の維持管理対策」については、人口が減少していく中、施設が過剰となり維持できなくなることも想定され、個別の公共施設について長寿命化・集約化などの再配置方策と実現時期を示した個別計画が必要であり、計画策定に向け委員会から意見を伝えていくことにしました。

担当課によると、平成28年度に施設全体の基本方針を示した多久市公共施設等総合管理計画を策定したが、その段階では多久市人口1人当たりの公共施設面積は同規模団体と比較しても大きく上回っており、このままでは財政的負担が大きくなるので、一定の目標値を設定しながら市民に知らせしていく必要があり、今年度中にその部分を詰めていきたいということでした。

委員からは、市役所本庁舎を含めた周辺施設の再配置計画について、計画しても10年、20年かかる可能性がある、早い段階で計画を立ち上げてもらいたいとの意見が出ました。

今後も、2つの課題について、情報を収集し、先進地や民間企

業・団体の取り組み等も参考に研究し、審査を進めていきます。



東庁舎周辺

産業厚生委員会報告

閉会中審査事件として、「持続可能な営農への取り組み」、「市内事業者の更なる活性化」の2項目について取り組んでいます。

「持続可能な営農への取り組み」については、多久市農業振興計画2021への具体的な取り組みについて、担当課や農業団体と協議を行っていくことにしました。

第11回議会報告会は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため、各町公民館での開催ではなく映像配信で

農業団体との意見交換では、農産情勢、野菜・果樹の課題、資材高騰などの経済関係について説明を受け、「国・県などの助成制度は多用途意されているが、制約が多く非常に取組みにくい。特に中山間地の多い多久では、果樹園などで採択要件の受益面積が確保できないなどの問題点がある」「助成等は、地域の実情に沿った制度設計となるよう、柔軟性をもって実施してもらうことが肝要だ」などの意見・要望がありました。



また、佐賀県農林水産部園芸課より「さが園芸888運動」についての内容や事業メニューにつ

いて説明を受けました。事業について、農家への周知不足が否めないのも、今後は農業関係の各部署へも周知を徹底していくとのことでした。さらに、説明終了後には、市の担当課と「農業振興計画2021」や市の農林業補助事業等について意見交換を行いました。

「市内事業者の更なる活性化」については、「コロナ禍における経済状況についての資料収集や、取り上げて欲しい事項について商工会等から聞き取りを行い、担当課も交え協議していくことにしました。

商工会で把握しているコロナ禍における商工業者の国、県等への各種給付金・助成金申請についての概要説明を受けましたが、経済状況を好転させるためには、人口減少への対応をどうするのが根本的な課題ということでしたので、委員会でも報告し認識を共有しました。

また、商工会各支部からの要望等をまとめ、取り組み状況について担当課と話し合いを行いました。

今後も、2つの課題について、

農業団体・事業者や担当課との協議を重ね、いただいたご意見や要望等の検討を進めていきます。



多久市商工会館

議会運営委員会報告

議会運営委員会は、議会の円滑な運営、議会改革などについて協議するために設置されています。

議会運営委員会では議会のICT化導入の検討を進めており、議会ICT化でタブレットを

導入することで、出先でも最新資料やスケジュールを見ることができ、市民への説明時にも素早く対応できるようになります。また、情報を紙で管理する場合、利用したい情報を、たくさん書類の中から探さなければならず、非常に時間がかかっていましたが、情報がデータ化されている事により保存している情報を検索することで瞬時に情報を手に入れることができます。また、災害時には地域情報を素早く共有し対応できる等、議員として情報の活用能力の向上につながります。



議会ICT導入自治体での視察

また、タブレットを導入することで、職員の印刷、製本にかかる時間や、差し替え、配布作業時間等の物的・人的・時間的なコスト削減にもつながっていきます。委員会では、ネットワーク環境や端末の管理について業者等と相談し導入に向け検討を進めていきます。

議会運営委員会では「議会のICT化」、「政務活動費」について、令和4年の8月までに一定の方針を決定できる様に進めています。

決算特別委員会報告

令和2年度の一般会計の歳入歳出や、給与管理・物品調達、土地区画整理事業、公共下水道事業、農業集落排水事業、宅地造成事業、国民健康保険事業、後期高齢者医療の7つの特別会計の歳入歳出及び、企業会計の多久市病院事業会計について決算の審査を行い、予算編成の目的に沿って執行されていることを認め、原案通り認定すべきものとして決定しました。

なお、改善あるいは検討を求める事項については附帯意見をつけ、今後の施策や予算案に繁栄するなど

適切な措置を講じるよう求めました。

一般会計歳入

- 不能欠損額が計上されてしまったので、税の公平性の観点から債権の回収にはなお一層の努力をすること。

一般会計歳出

総務費

- 負担金補助及び交付金について、必要性と有効性を十分に検証し、今後のあり方について検討すること。
- 行政放送放映委託料では、今回時間短縮を行ったが、内容検証を行い、市民へ必要な情報提供を確実に行うこと。

- 定住促進補助金については、各種定住対策に取り組んでいるが、更なる成果が出るように各種媒体等を活用し周知を図ること。

- 移住交流イベントでは、新型コロナウイルス感染症対策で対面でのイベント参加が困難であったが、オンライン等を活用したイベント等に積極的に取り組むこと。

- 生活交通路線維持費補助では、国・県及び沿線自治体で負担しているが、広域路線であるため、国及び

県の負担割合の見直しを働きかけること、また利用促進を図り、負担軽減に努めること。

- 職員研修については、資質向上のため、現状より積極的に受講させること。

- 地域おこし人材活用については、地域おこし協力隊員が自主的に提案される事業については、積極的に支援すること。

民生費

- 後期高齢者等はり・きゅう・あんま助成事業については、更なる周知を図ること。

- 高齢者温泉保養宿泊施設送迎事業委託料に関連し、交流スペース「彩り」の利用者増を図ること。

農業費

- カラス一斉駆除委託料については、さらなる効果をあげるよう対策を講じること。

- 営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業については、被害を受けた農家に対し、営農再開に向けて今後も支援すること。

商工費

- まちづくり交流センター「あいば

れつと」利用者の利便性向上に努め、交流人口の増加を図ること。

- 街なか元気プロジェクト事業については、市の課題解決に繋がるように進めて行くこと。

消防費

- 地域防災システム（G空間システム）については、広範な活用を行えるようにしてほしいが、状況的に無理であれば代替え機能への移行を検討すること。

教育費

- スクールバス事業については、車輛の更新時には多額の費用が見込まれるため、基金等による積立については研究すること。

特別会計

農業集落排水事業

接続件数を増加させること。

現地踏査

- 東原庁舎西溪校プール改築工事
- 多久市野球場ダックアウト・バックスクリーン塗装工事

- 野球場フバーフェンス

- 多久市弓道場建設工事

- まちづくり交流センター管理運営

- チャレンジショップ運営

● 街なか元氣プロジェクトの7か所について現地踏査を行いました。
議会として、今後も行政への
チェック機能を果たしていきたいと
思います。



西溪校プール



チャレンジショップ

議会の広報活動

多久市議会では、「議会だより」を年4回の定例会ごとに編集・発行し、市内の全家庭に配布しています。また、多久市議会ホームページで過去に発行した「議会だより」も見ることができます。

本会議や委員会での審査の様子を直接傍聴することができます。傍聴に来ることができない方は、多久ケーブルメディアで本会議の様子を会議当日と再放送で視聴することもできますし、YouTubeで過去の本会議の動画も見ることができますので、ぜひ「多久市議会」で検索してください。市議会ホームページからも見ることができます。

他にも、子どもたちの社会科学習の一環として、学校の協力を得て「議会出前授業」を開催しました。
今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考え、オンラインで議会と教室をつなぎ、東原庁舎東部校・西溪校・中央校の6年生167人を対象に出前授業を行いました。授業では議会の仕組みと役割・機能、本会議のやり方などをクイズ形式も入れながら分かりやすく説明しま

した。

「出前授業」終了後、子どもたちから多くの感想が届いたので一部紹介します。

● 議員と話せてよかった。質問できて良かった。
● 市民と市議会、市長の関係を、図を使って説明してくれたので分かりやすかった。

● いつか市議会を傍聴したいと思った。

● 18歳になったら選挙に行つて、より良い日本になるようにしてくれる人を選びたい。
などの感想をいただきました。



出前授業

また、「出前授業」と同じように子どもたちに議会や議員の活動を身近に感じてもらい政治に関心を持つ機会になるように、議会を実際に体験してもらう「子ども議会」も開催していますが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考え、多久市教育委員会と協議の上、昨年度に続き中止となりました。

多久市議会では、多久市議会基本条例に基づき市民のみなさんへ議会の活動状況などをお知らせする議会報告会を毎年開催していますが、昨年度と今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、多久ケーブルメディアの放送とYouTubeを使つての報告となりました。

今後も、開かれた議会を目指して、広報活動が続けてまいります。

令和3年度 第11回 多久市議会報告会



You Tube 動画配信中!

多久市議会報告会

検索

令和3年 11月定例会

令和3年11月市議会定例会は11月30日から12月15日まで(会期16日間)開かれました。今回は8人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

11月定例会では、市長から提出されました議案15件(条例5件、予算9件、その他1件)の議案について審査し、いずれも原案どおり可決しました。議会からは、意見書1件を提出し、可決しました。

多久市体育施設条例の一部を改正する条例

審査の過程で、「多久市緑が丘弓道場」については、以前より議会から維持管理の問題や管理体制について指摘されていました。今後1年間管理運営をするなかで、維持管理の問題点について調査研究を行い、1年後にその結果を議会に報告するように意見がありました。

本議案について、慎重に審査した結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案番号	賛否表 議案名 ※議案等について、賛成、反対の双方あった場合のみ、掲載しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議決結果
		飯守 康洋	田淵 厚	香月 正則	樺島 永二郎	國信 好永	山本 茂雄	田中 英行	中島 國孝	平間 智治	中島 慶子	小川 三郎	牛島 和廣	古賀 公彦	鷺崎 義彦	野北 悟	
議案甲 第30号	多久市体育施設条例の一部を改正する条例	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	—	原案可決

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 退は退席

議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

田淵 厚

■多久市緑が丘弓道場

Q 市の体育施設等を利用する場合、市外からの利用者は高く設定されている。弓道場は同一料金では市民が納得できるのか。行政サービスを利用し、利益を享受するなら応分の使用料、手数料を負担し、公平性、公正性を確保する必要がある。利用料金を同一にする理由は

A 弓道競技は一般競技と異なり競技人口が少なく、県内弓道競技者の施設利用の促進を図るため同一料金としています。負担の公平性に関しましては県内外の使用料を参考にして、応分の受益者負担の公平性、公正性を確保しています。



中島 慶子

■コミュニティ助成事業

Q コミュニティ助成事業助成金420万円の詳細と、この時期での補正予算への計上の理由は

A 2つの行政区に対して、一般コミュニティ助成事業を行うものです。筋原公民館へのエアコン3台設置に助成額170万円、山犬原公民館へのテーブル25台と椅子90脚の購入に助成額250万円です。補正予算計上の理由は、一般財団法人自治総合センターの事業費において追加募集が行われ、9月に追加の事業申請をし、11月に採択されたため、今議会で補正予算として計上しました。



議案質疑

※発言の一部を抜粋して掲載

樺島 永二郎

■子育て世帯への臨時特別給付金

Q 支給対象児童は、高校生世代への支給とあるが、その内容は

A 0歳から18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある養育されている子どもです。

Q 学生ではなく、就労・無職の子どもが、同居・別居している場合にも養育者に支給されるのか

A 就学の有無、就労の有無、同居・別居に関係なく、対象の子どもを養育している養育者へ支給されます。

Q 支給対象とならない者は

A 本給付金は児童手当の所得基準が適用されるため、基準を超える場合は支給対象外です。この他、対象の子どもが結婚し、その配偶者が生計同一の場合は支給対象外です。

■営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業

Q 事業の概要は

A 8月の大雨による浸水等で被害を受けた農家に対して、早期の営農再開と経営の安定を図ることを目的に、生産資材の購入経費を一部補助します。

Q 補助率3分の1が要件により2分の1になるとあるが、その要件とは

A 令和元佐賀豪雨以降、2回以上被災をされた農家、また、被災時で就農後3年以内の新規就農者で被災をされた方です。

Q 被災された農家への周知は

A 各部会での周知や、農家への資料の送付、被害状況の聞き取りなどにより周知を行っています。また、市のHPにも掲載しています。



鷲崎 義彦

■多久市体育施設条例の一部を改正する条例

Q 多久市緑が丘弓道場使用料決定の経緯は

A 県内外の同規模や国体会場となった弓道場使用料、競技者の増加、競技力向上、普及について検討し設定したものを、スポーツ審議会、教育委員会の審議を経て、決定したものです。

Q どのような運営体制となるのか

A 供用開始後の維持管理費及び利用の状況等がある程度把握できるまで直営とし、その後指定管理等の運営方式に移行できないか検討します。

Q 維持管理費等が市の財政に負担とならないか検討したのか

A 将来的には、市の財政負担を考え、他の体育施設等も含め、受益者負担の原則に基づいた使用料の見直しが必要と考えています。



■ごみ処理施設建設地域振興費の地域振興対策経費の減額について

Q スポーツ・レクリエーション施設建設費の減額1億1,446万6千円の理由、内訳は

A 令和3年度の工事量等を精査し、工事請負費、工事監理委託料を減額しました。

Q 工事が遅れているのか。

A 1期工事として造成工事、2期工事として施設整備工事という工事の発注形態としたため、4年度の工事費が大きくなったものです。

Q 令和5年4月の供用開始は大丈夫か。また、維持管理費等が市の財政負担とならない運営が必要では

A 造成を含め工事期間は1年と見込んでおり、事業推進を図ります。将来的な維持管理費を踏まえた使用料の算定も検討課題と認識しています。





古賀 公彦

市立病院跡地の有効活用を

古賀 市立病院閉鎖後の跡地活用について、病院跡地へ診療所や、介護施設などを公募することはできないのか。

答弁 民間が運営する診療所または介護施設については、多久市立病院跡施設活用協議部会の中でも一つの候補として、今現在検討を行っているところです。

なお、協議部会の中では、現施設をそのまま活用していくか、また、更地にして有効活用するのかなど、多角的に検討する必要がある、議員が提案された施設についても一つの候補であると考えています。

古賀 市立病院の解体費用は。

答弁 同規模の標準的な単価、1坪当たり10万円で見積もった場合、今の病院が1,900坪ですので、建物の解体だけで、約1億9,000万円の費用が見込まれます。



多久市立病院

古賀 道の駅としては。

答弁 多久市都市計画マスタープランの地域別構想において、多久地域は「歴史や文化を基盤とする観光交流のまちづくり」として方針設定がされています。

一つの候補として、多久聖廟や西溪公園と連携を図り、道の駅機能をもつ施設は、今後検討していきたいと考えています。



中島 慶子

人口減少を見据えた財政運営を

中島 我が市の直近の人口構造、財政の現状について。

答弁 令和2年の国勢調査の結果、総人口は1万8,295人で、14歳以下の年少人口が2,110人(11.5%)、15歳から64歳までの生産年齢人口が9,425人(51.5%)、65歳以上の老年人口が6,750人(36.9%)で年少人口と生産年齢人口が減少傾向にあり、また、老年人口が上昇傾向になっています。また、地方公共団体の財政の健全化については関係法に示されている三つの財政指標で判断すると基準内で運営を行っています。

中島 財政について市民の関心事としての国民スポーツ大会施設の弓道場、北多久公民館、統合の病院の建設事業費は。

答弁 国民スポーツ大会に向けた弓道場や周辺整備に13億4,300万

円、北多久公民館の整備事業費に総額5億円程度、新公立病院整備事業に関して基本計画の事業費総額が約77億円とされています。



多久市緑が丘 弓道場

中島 減収と財政の厳しさを乗り切るには、今後のさらなる人口減少を見据えた計画的な財政運営、事業選択が必要と思うが。

答弁 少子高齢化が進んでいくことが予想されるが第5次多久市総合計画に掲げる施策目標を踏まえ各事業の緊急性、必要性、事業効果等を的確に判断し、なお一層の経常経費の節減に取り組み、持続可能な財政運営を行うっていく必要があります。

一般質問



田中英行

消防団本部車の運転資格について

田中 現在本部車を運転できる人の割合は。

答弁 各分団本部車を運転できる団員の割合ですが、現在、本部団員129名中、117名が運転可能となっています。運転資格のない方は12名となっており、その内訳は、準中型免許が必要な方が6名、オートマ限定の方が6名という状況です。

田中 今後若い団員が増えてくると思います。そういう場合に、消防団に入ってくる人に、中型免許取得を市が補助する施策はできないか。

答弁 解決方法が2パターンあると考えています。一つ目が議員御提案の免許取得の方法、もう一つが、普通免許でも運転できる車両への移行が考えられます。

いずれにしても、この問題については、消防団の意見も伺いながら、団員確保の観点も含め、検討していきたく

と考えています。

田中 今後考えるということだが、団員募集のPRとして「消防団に入ったら中型免許が取れます」というふうなPRの仕方もいいのでは。

また、団員の命を守る事と、環境整備をお願いしたい。



鷲崎義彦

防災システムのあり方

鷲崎 このシステムは、地図情報を活用し、そのデータを地図上に表示し、スマートフォン等でいつでもどこでも情報が把握できる環境が構築されているのか。

答弁 浸水想定区域や土砂災害警戒区域を確認して頂けるようweb版多久市防災ハザードマップとして市のホームページに掲載し、移動しながらでもスマートフォン等で自身の位置情報を確認しながら利用いただけます。

鷲崎 災害時の対応の迅速化に繋がっているのか。

答弁 災害対策本部設置の段階で調査班2班を設置し、定められた地点の画像データがシステム上に投稿され災害対策本部で状況確認できます。現時点の活用範囲は職員間に限定しています。

鷲崎 令和元年12月の議会で、嘱託員の災害報告書作成に利用できるようにと要請したところ、紙と併せてシステム利用の報告書提出が可能となるよう解決を図ることになったが。

答弁 現在も検討中ですが、報告されたデータの集約方法等運用面での課題が残っています。

鷲崎 他の市町を参考に改良するか、代替のものがあるか等財政負担も含め検討を。

答弁 LINEをはじめ様々なツールの活用等、費用対効果も踏まえ検討を進めていきます。



庁舎内防災システム

【その他の質問】

▼市道の維持管理について



樺島 永二郎

新型コロナウイルスワクチン 3回目接種

樺島 転入者への接種券を配布するための、1・2回目接種確認は本人に確認をすることなくワクチン接種記録システム(VRS)で確認できるのか。

答弁 12月3日のデジタル庁の通知でVRSによる他自治体への接種記録照会の運用が変更されたので、4月以降転入者の接種履歴を確認の上、該当者に速やかに接種券を送付する準備をしています。

樺島 ファイザー社とモデルナ社のワクチンを接種計画の中でどのように運営していくのか。

答弁 ワクチンの供給量次第になりますが、市内に9つある医療機関でファイザー社ワクチンを接種し、接種センターでモデルナ社ワクチン接種を計画しています。

日本遺産申請認定されず

樺島 日本遺産申請に取り組むに当たり、多久市歴史文化基本構想の策定に平成28年度218万円、平成29年度484万円、日本遺産申請に令和元年度143万円、令和2年度400万円、合計1,245万円の事業費を使い、作成した情報やストーリーを、観光資源や教育資源として使うことを考えていないのか。

答弁 歴史文化基本構想や日本遺産のストーリーは、観光振興や学校教育と切り離せないと考えており、関係課と連携強化、体制づくり、協議等を行い、今後十分生かせるように企画、検討を行います。



多久市歴史文化基本構想冊子



田淵 厚

新型コロナウイルスワクチン 3回目接種

田淵 当初の感染症ワクチンの予防接種実施期間は、令和3年2月17日から令和4年2月28日であり、追加接種により延長されるが、その期間は決まったのか。

答弁 国は現行の期間を延長し、特例臨時接種は令和4年9月30日までとなっています。

田淵 報道では、オミクロン株の影響で、2回目摂取からの期間変更や、ワクチンの種類による需要の偏り、ワクチンの違いによる希釈の違い、摂取年齢の引き下げなどにどう対応するのか。接種が8か月から6か月、1・2回目の主流のファイザー製に人気があり需給の偏り、2種類のワクチンを扱う接種の希釈の間違い、5歳から11歳迄の接種と並行する可能性があり心配や混乱があると思うが、多久市はどう対応されているのか。

答弁 5歳から11歳迄の接種の詳細

については国からまだ正式な通知はありません。しかし、接種間隔の変更や対象年齢変更も可能性があることから、医師会や関係団体と検討しています。

田淵 接種証明書を発行することで、未接種者への差別に繋がらないか。接種を受けない人、5歳から11歳の接種開始などで差別に繋がらないか心配、その点はどう対応されるのか。

答弁 接種したくても身体上接種できない人、様々な理由で受けられない人への差別的な行為や誹謗中傷がないよう、改めて啓発を行います。



多久市ワクチン集団接種センター

一般質問



平間 智治

胃がん対策の充実を

平間 多久市の胃がん対策の実施状況は。

答弁 胃のバリウム検査は、集団検診と毎日検診で実施し、料金は900円です。令和2年度は集団検診653人、毎日検診で15人が受診しています。胃内視鏡検査は50歳（60歳代（偶数年齢）、多久・小城市内の委託医療機関で個別検診として実施し、料金は3千円です。令和2年度は37名が受診しています。

平間 ピロリ菌抗体検査（血液検査）を受けた方は。

答弁 令和元年度が15名、2年度が7名です。

平間 ピロリ菌の発見と除菌の重要性についてWHO（世界保健機関）の学説を紹介。

● 感染は胃酸の分泌が不十分な幼少時に井戸水の利用や乳幼児への口移

しなどによって感染。

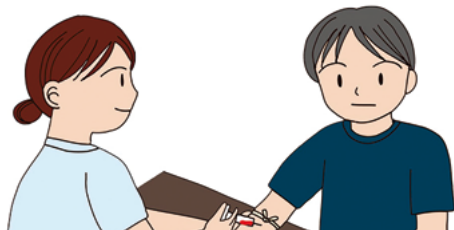
● ピロリ菌に感染すると数週間から数か月で必ず100%慢性活動性胃炎になる。この病理学的異変をWHOはヘリコバクター・ピロリ感染胃炎と命名。

● 胃がんは約80%このピロリ菌が原因と正式に2014年WHOによって認められた。

除菌は全額負担約2万円が2013年に保険適用になり約6千円です。除菌に成功すれば再感染のおそれは低く、将来的に胃がん、胃潰瘍などの予防にもつながります。ピロリ菌検査費用の助成など今後の対策は。

答弁 県内10市のうち本市を含め5市がピロリ菌検査を実施しています。多久市を除く4市では全額、または一部費用の助成を行っています

が、多久市は検診費用の軽減については検討していません。まずは、ピロリ菌検査について対象者の方への啓発に努めていきます。



國信 好永

旧むつみ荘の再開を

國信 天山多久温泉タクアの交流スペース「彩り」の現状及び使用状況は。

答弁 平成30年7月にタクア内に交流スペース「彩り」を設け、集会等のスペースや温泉とともに活用し本年度4年目を迎えています。

交流スペースの利用者数については令和3年度で月平均115人の利用です。

次に、温泉の利用についてですが令和3年度はコロナ禍の影響を受け利用者数が減っていますが令和3年度の10月末時点で延べ1万1,380人、月平均1,626人の利用となっております。

國信 旧むつみ荘利用者の方より再開の声があるが。

答弁 旧むつみ荘の施設は昭和54年建築で42年が経過し老朽化が進んでいるため再利用は考えていません。



旧むつみ荘

國信 「彩り」は、老人福祉センターとしての機能が働いていないと思われる。

高齢者の利用者からは非常に使いづらい、元のむつみ荘が今の「彩り」よりずっとよいと意見があります。よって私は再度移転することを要望します。

答弁 意見としては、承りました。

國信 旧むつみ荘の再開、または代替施設の建設を要望します。



多久の歴史

前多久時代と蒙古襲来

平家の滅亡と鎌倉幕府の成立

治承4年(1180)、源頼政が以仁王(後白河天皇王子)を奉じて平家打倒に挙兵したが宇治で打ち負け敗死した。その後、源頼朝・源義仲が挙兵、様々な戦をおこない、文治元年(1185)長門壇之浦で平家が滅びると、建久3年(1192)後白河法皇の死去ののち、源頼朝は念願の征夷大将軍に任官し、鎌倉幕府の土台が出来上がりました。

この頃の多久には、源頼朝の御家人、津久井宗直が建久2年(1191)、12万石を賜り地頭とし一族郎党300余人を率いて下向し、南多久庄に陣内城を築き、つづいて梶峰城(多久町)を作り多久氏と改姓、「多久太郎宗直」とし、ここを居城として治めました。

また、高野神社を創建、桐野山妙覚寺を再建して民心の安定をはかり、風教(徳をもって人民を良い方へ導くこと)の隆興に尽くしました。



▲梶峰城跡地

蒙古襲来

鎌倉幕府が始まったころ、アジア大陸では蒙古族が蒙古国を建て、わずか半世紀の間に欧亚大陸に大帝国を建設しており、文永5年(1268)成吉思汗の孫、忽必烈は、高麗王を介して国書を日本に送り7回に渡り服従を迫ってきました。

蒙古国は文永11年(1274)10月、9百隻の艦船、兵3万をもって対馬、壹岐を侵攻し、筑前、肥前の海岸に侵攻した。九州勢は、少弐経資を総大将に肥前勢として多久宗行(3代宗直の孫)も参戦、善戦したが次第

に苦戦に陥り、一旦水城まで退却した、その夜、思いがけない暴風が吹き起り艦船は沈没し戦闘継続能力を失い退却した、これを「文永の役」という。

弘安4年(1281)6月、アジア南方の宋を滅して勢いに乗った蒙古国は、4千4百隻の艦船、兵14万の大軍をもって、対馬、壹岐を侵し博多湾に押し寄せてきたが、幕府は再度の襲来に備え石築地(石塁)を築き防備を厳重にしていたことで防戦する日本軍に阻まれ上陸できず、一進一退の戦が続いていたが、7月30日の夜から続いた大暴風雨による自然の威力には勝てず、ほぼ全滅状態で本国に逃れ帰った。この戦を「弘安の役」という。



▲多久太郎宗直の武者姿

弘安の役で多久家は壹岐で戦っているが、多久宗行も「弘安4年7月蒙古襲来之節壹岐大瀬戸において勲功を抽す」との記録が残っている。また、多久宗行の一族相浦宗興について「弘安4年蒙古の博多に冠するや宗興防戦の功あり、恩賞ありて小城郡の※内能職村を賜ふ」とある。(※内能職村とは納所村のことか?)

源頼朝が鎌倉幕府を開いてから141年目に鎌倉幕府は滅亡したのであるが、多久家は初代以降14代、竜造寺氏に滅ぼされるまで342年にわたって多久邑主として支配していました。



多久太郎宗直の墓・延寿寺(前多久家、宗直以下4代供養塔)▲



▲蒙古の襲来「文永の役」「弘安の役」

UD
FONT

耳や舌で読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に優しい植物油
インキを使用しています。

議会広報委員会	
委員長	樺島 永二郎
副委員長	鷺崎 義彦
委員	田淵 厚
委員	小川 三郎
委員	平間 智治
委員	香月 正則

お知らせ
牛島和廣議員が令和3年12月31日付で辞職されました。

